

科目ナンバリング	HN3-2066R	単位	2	必須・選択	必修
講義名称	慢性期看護論				
講義名称(英)					
対象学科	保健看護学科	配当学年	看護2年		
開講学期	後期	授業形態	演習		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限 大)実習室A(基礎・成人) / 後期 月曜日 3時限 大)講義室2 / 後期 月曜日 4時限 大)実習室A(基礎・成人) / 後期 月曜日 4時限 大)講義室2	担当教員	岩本 里美 / 佐藤 慶如		

授業の概要

成人期にある人の成長発達や身体的特徴、健康観の多様性や学習の特徴、健康障害に応じた看護を学習する。そして、成人期にある人の多様な価値観や生活者としてのあり様を理解し、健康障害がその人の価値観や生活に及ぼす影響を考えながら、必要な健康への支援方法を学習する。その中で、慢性的な健康障害を有する成人期にある対象や家族を、身体的・心理・社会的側面から総合的に理解し、その人が主体的療養行動に繋がるための看護援助を学ぶ。そのためには、既習の人体構造・機能論や臨床疾病治療論の知識を想起しながら、病気がその人の生活に及ぼす影響を考えながら看護支援を学ぶ。演習では、対象のセルフケア能力を高めるための技術や教育的支援を体験的に学ぶ。

到達目標

成人看護学の外観を説明できる。
 慢性的な健康障害を有する成人期にある人や家族の特徴を、身体・心理・社会的側面から説明できる。
 代表的な慢性疾患の病態・検査・治療を理解し、必要な看護を説明できる。
 対象のセルフケア能力を高めるための技術や教育的支援の技術を身につけることができる。
 疾患が対象の生活に及ぼす影響を考え、その人のセルフケアマネジメント能力を高めるための看護を説明できる。

ディプロマ・ポリシーとの関連

学科	DP1	DP2	DP3	DP4
経済学部経営経済学科	-	-	-	-
保健福祉学部コミュニティ福祉学科	-	-	-	-
保健福祉学部保健看護学科			○	

授業の形態及び方法

1. 講義は視聴覚教材や資料を用いて行います。授業の中では、講義を受けて自己の考えを明らかにするために、学生間でディスカッションする時間を持ちます。
2. シミュレーション演習や個人・グループ学習などを行います。また、ディブリーフィングを行い、学びを共有して考えを深めます。
3. 小テストを3回行います。

評価方法・基準

- ・ 定期試験および課題、授業参加態度で評価します。筆記試験：80%
- ・ 演習課題（個人学習の成果、グループ学習成果、プレゼンテーション内容、カンファレンス内容）：15%
- ・ 授業参加態度（小テスト、主体性・積極性・協調性などの参加態度）：5%
- ・ 各評価方法の配点を合計し（100点）、60%以上の得点を合格とします。

授業計画			
回数	授業内容	事前学習	事後学習
第1回	・ガイダンス、成人看護学外観（成人の特徴、成人を取り巻く環境、成人期の健康課題）（講義） 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第2回	・慢性期とは（講義） 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第3回	・慢性期看護とは、慢性疾患のある患者と家族の特徴、慢性疾患の治療と看護の基本、セルフケア・自己管理を促進する看護（講義） 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第4回	・慢性疾患を有する人とその家族の理解・慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本（講義） 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第5回	・治療を受ける患者の看護（講義） 化学療法と看護 放射線療法と看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第6回	・治療を受ける患者の看護（講義） ステロイド療法と看護 肝動脈塞栓術	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第7回	内部環境調節機能障害を有する患者とその家族への看護-1（講義）：糖尿病看護の概観 特別講義：講師 増田 千絵	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第8回	内部環境調節機能障害を有する患者とその家族への看護-2（講義）：糖尿病患者への看護 特別講義：講師 増田 千絵	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第9回	消化機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 消化機能総論 潰瘍性大腸炎患者の看護、クローン病患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第10回	消化機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 肝硬変患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第11回	シミュレーション演習：血糖自己測定法指導の実際、インスリン自己注射指導の実際	事前課題に取り組に演習に臨みましょう。	演習を振り返り自己の課題を明確にしましょ
第12回	シミュレーション演習：血糖自己測定法指導の実際、インスリン自己注射指導の実際	事前課題に取り組に演習に臨みましょう。	演習を振り返り自己の課題を明確にしましょ
第13回	・内分泌機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 甲状腺機能総論 甲状腺機能亢進症患者の看護 科目担当者：奥原	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第14回	・内分泌機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 甲状腺機能低下症患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第15回	腎機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 腎機能総論 慢性腎臓病（慢性腎不全）患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第16回	腎機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 透析療法を受ける患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第17回	・呼吸機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 呼吸機能総論 科目担当者：奥原	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第18回	・呼吸機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第19回	・循環機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 循環機能総論 慢性心不全患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第20回	・循環機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 不整脈のある患者の看護、ペースメーカー植え込み術を受ける患者の看護 科	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第21回	血液機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 血液機能総論 白血病患者の看護科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第22回	血液機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 造血幹細胞移植を受ける患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第23回	免疫機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 免疫機能総論 自己免疫疾患（膠原病を含む）患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第24回	免疫機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 全身性エリテマトーデス患者の看護 原発性アルドステロン症患者の看護、クッシング症候群患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第25回	感覚機能障害を有する患者とその家族への看護（講義） 視覚機能総論 視覚障害を有する患者の看護 聴覚機能総論 メニエール病患者の看護 科目担当者：岩本	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第26回	運動機能障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 運動機能総論 椎間板ヘルニア患者の看護 関節リウマチ患者の看護	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第27回	脳・神経機能の障害を有する患者とその家族への看護（講義） 脳神経機能総論 高次機能障害 科目担当者：佐藤	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第28回	脳・神経機能の障害を有する患者とその家族への看護（講義・演習） 脳梗塞患者の看護 科目担当者：佐藤	次回のテキストの通読と用語を確認しましょ	配布資料、テキストで本時の学習内容を振り
第29回	・慢性疾患を有する人とその家族へのセルフマネジメントを促す支援の実際-1（演習） -グループワーク- 科目担当者：岩本	事前課題に取り組み演習に臨みましょう。	
第30回	・慢性疾患を有する人とその家族へのセルフマネジメントを促す支援の実際-2（演習） -グループ発表- ・まとめ 科目担当者：岩本	事前課題に取り組み演習に臨みましょう。	テキスト、配布資料で慢性期看護論の学習内

教科書				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『看護学テキスト NICE 成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える』	鈴木久美, 旗持智恵子, 佐藤直美 編	南江堂	2024	978-4-524-23436-3

教科書(自由記述)

参考書

書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『病気が見える vol1 . 消化器』	医療情報科学研究所編	メディックメディア	2020	978-4-89632-792-2
『病気が見える vol2 . 循環器』	医療情報科学研究所編	メディックメディア	2021	978-4-89632-830-1
『病気が見える vol4 . 呼吸器』	医療情報科学研究所編	メディックメディア	2018	978-4-89632-730-4
『患者がみえる新しい「病気の教科書」かんてき(整形外科)』	渡部欣忍編	MCメディカ出版	2020	978-4-8404-6923-4
『患者がみえる新しい「病気の教科書」かんてき(循環器)』	大八木秀和監	MCメディカ出版	2020	978-4-8404-6921-0

参考書(自由記述)

その他

- ・既習の専門基礎科目・専門科目と急性期看護論での学びを関連させましょう。
- ・主体的で積極的な参加姿勢で臨みましょう。
- ・演習は事前学習、事後の振り返りなどの課題への取り組みが必須です。
- ・状況により授業内容や進め方を一部変更することがあります。
- ・私語は厳禁です。

科目責任者：岩本 里美

実務経験

実務経験あり
全教員が看護師として病院勤務